

北海道

北海道教区青年会北人星 WAKAI から



会を札幌市内の3教会対抗で行われました。種目はソフトボールで聖ミカエル教会チームが今回の大会優勝チームとなりました。青年だけでなく大人や子ども達も参加して

二〇〇六年には新年早々旭川でのスキー合宿が提案されています。北人星 WAKAI にはホームページを教区のホームページより発信してありますので既述のブログと一緒に是非ご覧ください。アドレス：
http://www.nskk.org/hokkaido/hokutosei/top.html
(北海道・札幌聖マリーガレット/上平更)

七月に入ってから教区のサマーキャンプの開催地旭川江丹別のオサラツペ牧場に四人のメンバーが集い屋外トイレを設置し、今年の夏の活動に備えました。同月に新しいメンバーが三人増え一層活動の幅も広がりました。八月に入るとGFS やサマージャンボリーの活動にもスタッフとして参加して子ども達との楽しい一時を過ごしました。

九月三日には石塚兄宅で映画鑑賞が行われました。十月二三日には長い間行われていなかった教会対抗のスポーツ大会

大いに交流を深めました。現在北人星 WAKAI のブログにて青年達による記事の投稿リレーが行われています。様々なメンバーからの個人的なメッセージが交代で掲載されていますので興味がある方は是非 <http://log.goo.ne.jp/nskkyouth/> をご覧ください。
北人星 WAKAI は二〇〇五年九月で創立一周年を向かえました。これからも教区の皆さんと一緒に様々な活動をして北海道を盛り上げて行きたいと考えています。

京都

「辺野古」に教区が支援策

教区局長会をはじめ宣教局では、沖縄に新たな基地建設がなされるようとしている現状を止めるべく活動しておられる現地の人々の活動に賛同していくため、特に青年が辺野古の座り込み活動に参加するための支援をしていくことが確認されています。

これは管区の青年委員会の呼びかけに応えることでもあり、また平和の歩みを具体的に示す「命を大切にす」の呼びかけでもあり、青年が参加しており、昨年沖縄で行われた J.S キャンプに参加したメンバーを入れると教区の青少年の辺野古座り込み活動に参加した数は少なくありません。教区内の教会・施設等への呼びかけは教区宣教局宣教部を通して行われています。一八・三〇歳までの青年を対象に、青年活動窓口を通して参加の支援が行われており、今後、参加した青年達が様々な場で報告等しながら教区全体で沖縄のこと、平和の事を意識し協働できたらと願っています。そして祈りと行いが共に大切にされ、それらが自分の生活の中で互いに深められ、つながっていきたくと願っています。
(教区青年活動窓口 小林聡)

九州

九州教区「平和を考えたプログラム」(通称平プロ)

「長崎に立つ」を終え、その後少し間があいたものの、六月、八月、十月と例年通り約二カ月毎に定例会を重ねています。六月には「沖縄の旅」に参加したメンバーの報告から始まりましたが、いつしか話の内容は今後の平プロのあり方がテーマとなり、自分達の活動を見直そうという雰囲気になっていきました。その後の定例会では共に今後の平プロの方向性についての議論がなされました。というのも、二最近集まるメンバーがめつり少なく、また限られてしま

勢いはいまやめつり少なくなってしまっています。夏には「青年リーダーシップトレーニングキャンプ」を行なう事に決定し、準備が始まりました。テーマはまだ決まっていますが、内容としては強制連行や従軍慰安婦の証言を聞くことを中心に、証言者の方にマネージしていただいで、フィードバックができればいいと考えています。
早川成(九州教区教育部青少年担当)

三光教会青年会

十月九日、三光教会の青年会キャンプ

として、松代大本堂を訪問する企画を行った。三光教会では、昨夏の全国青年大会の報告会を行って以来、青年たちが教会内外で活動の枠を広げており、これを機に正式に青年会を発足させたが、青年会が目的意識をもったキャンプをしたい、との声が高まり、今回の

知っておく必要がある、「焦点がボケている。何かアクションを起こさないと!」「平プロは何にこだわっていくのか!目的や方向性を明確にしていかなければいけない!」「以前のようなテーマを決めた学習をしなくなっている。定例会をもっと大切に、外に向けてのアピールや誘いかけも積極的に進めてはどうか?」「集まるだけではなく、それぞれの地元や教会での報告会や学習会を企画してはどうか?」など、(私達には似合わない?) 結構深刻に、そして真剣な話にもなっているところだ。
私達は八月九日、戦後六十年、そして全国青年大会から丸一年という節目に長崎に立つてきました。夏には「青年リーダーシップトレーニングキャンプ」を行なう事に決定し、準備が始まりました。テーマはまだ決まっていますが、内容としては強制連行や従軍慰安婦の証言を聞くことを中心に、証言者の方にマネージしていただいで、フィードバックができればいいと考えています。
早川成(九州教区教育部青少年担当)

三光教会青年会

企画が実現したものである

年にあたり、その意義を再確認し、学びと交流を深めることを目的に行われた。宿泊は新生病院横にあるスタートメモリアルハウス。
当日は中部教区長野伝道区の青年たちが夕飯作りのご奉仕をしてくださったおかげで、時間を有効に使い、楽しい夕食をいただくことができた。その後、夜遅くまで三光教会と長野伝道区青年達の交流が続き、翌日はいよ松代へ向かった。
ガイドを務めて下さった飯野勉さん(上田聖ミカエル及び諸天使教会)が、松代大本堂の歴史や工事の概要、また工事に携わった様々な方々の苦悩について語ってくださった。工事は、特に朝鮮等から強制連行された人々が従事し、この工事を完成させて、戦後の国体を守り、連合国軍との交渉を有利に進めるために、沖縄を捨て石にする作戦が軍部によって行われた、等のお話を伺い、大きな衝撃を受けた。大本堂訪問後は、各自昼食をとって現地で解散。

参加者は、長野伝道区五名、三光教会等十九名(うち幼児五名)。三光教会は青年世代の増加とベビーブームを迎えており、未来を担う人材を育てていければと願っている。
(東京・三光教会 松本誠)

サッカー

十月十日の体育の日、秋のサッカー大会(京都/大阪/神戸教区)を淀川河川敷で行いました。当日の天気予報は雨だったのですが、みんなの祈りをかなえてくださったのか曇り空ながら開催できました。参加者がかなり少ない時期が過去にはありましたが、今回は二十名以上の参加者が来てくれました。ただ、普段の運動不足がたたってか足を

つる人がちらほらと(笑)。最後に雨が激しく降り出したので試合途中で中止になりましたが、特に怪我人も無く(筋肉痛除く)、みんな楽しんでできました。次は春(GW頃)の予定ですので多数の参加をお願いします。(大阪・西宮聖ペテロ/当舎真)